

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 26 日現在

機関番号：24302

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2016

課題番号：26284108

研究課題名(和文)「モリソン文庫」時事資料群の国際的な公開と活用による東アジア近現代史像の刷新

研究課題名(英文) Historical Reexamination of Modern East Asia: from the Shelves of the George Morrison Pamphlet Collection

研究代表者

岡本 隆司 (OKAMOTO, Takashi)

京都府立大学・文学部・教授

研究者番号：70260742

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 10,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、東アジア近現代史研究者の共同研究を通じて、(1)東洋文庫に所蔵する「モリソンパンフレット」の利用環境を整え、(2)「モリソンパンフレット」およびその関連資料を活用した新しい東アジア近代史研究の知見を発信する、という二点を目的としている。

(1)の課題に関しては、東洋文庫所蔵「モリソンパンフレット」の目録・解題作成作業を進め、およそ800件分を完成させており、同時に、東洋文庫で「モリソンパンフレット」資料のデジタル化・一般公開を推進している。(2)については、「モリソンパンフレット」を活用した共同研究の成果として、論集『モリソンパンフレットの世界』を編集刊行した。

研究成果の概要(英文)： This research project aimed at two points. The first point was to establish an environment for more effective utilization of the George Morrison Pamphlet Collection, by creating a database with summaries in English of the items in the Pamphlet Collection. Over the course of the project, we finished summarizing more than 800 items in the Pamphlet Collection.

The second point was to promote researches to utilize the items in the Pamphlet Collection. Through the efforts to explore many items, we have discovered the value and the potential of the Pamphlet Collection as an appealing and informative historical resources. We have written articles and essays not only on academic journals, but we have also jointly published a book on modern East Asian history that contains our research papers utilizing the Pamphlet Collection. We have thus achieved the above-stated objectives of the research project that demonstrates the value and potential of the Pamphlet Collection.

研究分野：近代中国外交史

キーワード：モリソンパンフレット モリソン文庫 東アジア近現代史 東洋文庫

1. 研究開始当初の背景

本研究課題は、東洋文庫所蔵「モリソン文庫」の白眉と称される「モリソンパンフレット・コレクション」(以下、パンフと略称する)が、その歴史資料としての貴重性と有用性にもかかわらず、なお十分に研究に活用されていない現状への危機意識に立脚して企画された。

パンフの蒐集者である G. E. モリソンは、19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、『タイムズ』紙通信員として、また中華民国政府顧問として、中国・北京に滞在し、当時の東アジアをめぐる世界情勢に対する旺盛な関心にもとづき、おびたしい欧文書籍を蒐集した。そのなかでもパンフは、同時代の東アジアの諸事件を世界の動向と関連づけてとらえるモリソンの鋭い時事的関心が貫いており、パンフ資料は東アジア近現代史研究に十分に活用されるべき資料的価値を有している。

2. 研究の目的

本研究課題は、以下の 2 点を主要な目的としている。

まず上述のとおり、高い可能性をもちながら、これまで十分に活用されてこなかったパンフの総合的・有機的な利用環境を整え、公開に資する。

第二に、G. E. モリソンの東西世界を見る複眼的なまなざしが貫徹しているパンフ資料を実地に東アジア近現代史研究に活用する。

そうした作業を通じて、極東の政治外交の諸問題に対するマクロ・グローバルな観点と民間の社会経済の側から照らし出されるミクロ・ローカルな諸問題に対する視座とを組み合わせた新しい東アジア近現代史研究の実例を提示して、世界に発信する。

なお本研究課題は JSPS23320150 の継続をなし、そこで追究されたパンフ資料の公開・研究をいっそう推進することを企図している。

3. 研究の方法

本研究課題は、以上に述べた研究目的に即して、主として二つの方向ですすめられた。

第一に、パンフを閲覧、研究する研究者の利便性に資するため、書誌情報に加えて英文による概要紹介をも含むカタログを作成する。合わせて、約 6,000 件にのぼるパンフレットをすべてデジタル画像化し、公開にそなえる。

第二に、研究代表者、および研究分担者が各人の研究の関心・テーマに即して、パンフ資料を検索蒐集、活用した研究をおこなう。その作業を通じて、零細で雑多なパンフ資料を他の資料群と有機的に関連させつつ、新た

な歴史研究を進める方法を具体的に提示できる。

4. 研究成果

上述の二つの研究方法に分けて、研究成果について記述したい。

パンフのデジタル画像化およびその公開については、JSPS23320150 から継続した作業となっており、東洋文庫の規則と手順にしたがってパンフ資料をデジタル・データベース化し、共同研究者の利用に供することが可能となりつつある。その公開方法については、なお慎重な検討を必要とするものの、作業は着実な進行をみている。

またこの公開にともなうパンフ資料に対する英文の概要紹介作成も、JSPS23320150 から継続した作業であり、一定のペースで進んでいる。パンフ資料を検索し資料として活用するにあたりきわめて有効となりうるもので、現在およそ 1,000 件を下らない数にのぼっており、こちらも以後、東洋文庫の規則と手順にしたがいつつ、作業を継続させてゆく予定である。

次にパンフ資料を活用した研究についてである。研究代表者および研究分担者は、3 年間の研究期間を通じ、各人の関心およびテーマに即してパンフを検索蒐集し、パンフ資料を他の資料と関連させて活用し、どのような研究が可能かを試みてきた。それらの研究成果は、ほぼ年 2~3 回のペースで開催された全体研究会の場で随時報告を受け、研究会メンバーの間で共有されただけでなく、後述するように、各人が個別に発表した雑誌論文、著書、学会報告などを通じて、広く公になっている。

また研究会全体としては、本研究期間中に論集『モリソンパンフレットの世界』(東洋文庫論叢 79)を編集刊行した。すでに JSPS23320150 の研究期間中、同名の論集を出したことがあって、その続編である。コンセプトもやはり継続しており、パンフ資料を活用した本格的研究の具体例とする位置づけである。内容は前論集から少し視野をひろげて、モリソンとその活動・コレクションにまで目配りの行きとどいた議論になっており、前論集とともに、国内外の研究者の注目を浴びた。それを具体的な題材に、シンポジウムも開催して、その成果をひろく一般に還元もしたのである。

以上に述べたとおり、3 年の研究期間、研究代表者および研究分担者が多数発表してきた研究成果は、東アジア近現代史研究を牽引するすぐれたものであり、そうした研究に使われたパンフ資料は、当該分野の歴史研究において、豊かな可能性を持つことを具体的に提示したといえるだろう。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計 11 件)

松重充浩、「大連日本人社会における中国認識 総合雑誌『満蒙』を事例として」、田中仁編『21世紀の東アジアと歴史問題』法律文化社、査読無、2017、106-122

村上衛、「清末西江の「海賊」－「緝捕権」問題と貿易・航運」『史林』、査読有、100巻1号、2017、106-140

岡本隆司、「民国初期の蒙藏「独立」問題とモリソン」、ス波義信編『モリソンパンフレットの世界II 近代アジアとモリソンコレクション』公益財団法人東洋文庫、査読無、2016、53-69

岡本隆司、「「東アジア」と「ユーラシア」 「近世」「近代」の研究史をめくって」『歴史評論』、査読有、799号、2016、37-46
ス波義信、「中国商業・華僑研究と社会学」『日中社会学研究』、査読無、24号、2016、1-13

新村容子、「モリソンパンフレットより見る 20世紀初頭アヘン追放運動」ス波義信編『モリソンパンフレットの世界II 近代アジアとモリソンコレクション』公益財団法人東洋文庫、査読無、2016、1-52

本野英一、「辛亥革命前夜上海周辺地域の通貨信用制度、1900-12 莊票の兌換期限問題を中心に」、ス波義信編『モリソンパンフレットの世界II 近代アジアとモリソンコレクション』公益財団法人東洋文庫、査読無、2016、179-219

岡本隆司、「モンゴル「独立」問題と漢語概念 キャフタ協定にいたる交渉を中心に」『東洋史研究』、査読有、73巻4号、2015、105-139

新村容子、「The Friend of China より見る イギリスのアヘン貿易反対運動」『アジア学の宝庫、東洋文庫 東洋学の史料と研究』勉誠出版、査読無、2015、255-267

Tomoko Shiroyama, “The Hong Kong – South China Financial Nexus: Ma Xuchao and His Remittance Agency,” Sherman Cochran ed., *The Capitalist Dilemma in China’s Communist Revolution*, Cornell East Asia Program, 査読無、2014、203-224

吉澤誠一郎、「清末中国における男性性の構築と日本」『中国 社会と文化』、査読無、29号、2014、42-65

〔学会発表〕(計 8 件)

岡本隆司、「近代日本が見つめた中国」、亞細亞問題研究所現代日本センター招聘セミナー、2016年11月8日、高麗大校亞細亞問題研究所、ソウル(韓国)

Ei Murakami, “Global History and Economic History of China,” *Global History in Chile and Japan*, 2016年11月4日、Facultad de Letras, Pontificia

Universidad Católica de Chile, Santiago de Chile (チリ)

ス波義信、「在日本的中国史研究の実証」、華東師範大学歴史系特別講演会、2015年11月9日、華東師範大学、上海(中国)
ス波義信、「華僑商事制度中的《關係》：公司、合股、承包」、海外華商網絡与華商組織國際學術研討会、2015年11月7日、華中師範大学、武漢(中国)

Takashi Okamoto, “Tycoon, Sovereignty, and Independence: International Relations Surrounding Modern Korea,” New York Conference on Asian Studies 2015, “Global Asia: Social, Cultural, and Political Spaces,” 2015年10月16-17日, Vassar College, Poughkeepsie, New York (アメリカ合衆国)

Tomoko Shiroyama, “Trade and Trade Centers in China during the ‘Long 19th Century’: Working Hypothesis and Related Materials,” ANGIS and CRMA Bangkok Meeting 2015, 2015年1月6日, Princess Maha Chakri Sirindhorn Anthropology Centre, Bangkok (タイ)

岡本隆司、「儒教の運命と近現代中国」「人類の思想的営みとしての宗教遺産の形成に関する総合的研究 宗教遺産学の構築に向けて」研究会, Edwin O. Reischauer Institute of Japanese Studies, Harvard University Center for Government and International Studies, 2014年10月10-11日, Cambridge, Massachusetts. (アメリカ合衆国)

吉澤誠一郎、「近代日本の城市指南與中國印象：以北京、天津為例」、『全球視野下的中國近代史研究』國際學術研討會、2014年8月12日、中央研究院近代史研究所、台北(台湾)

〔図書〕(計 11 件)

岡本隆司、『清朝の興亡と中華のゆくえ 朝鮮出兵から日露戦争へ』講談社、査読無、2017年、300頁

岡本隆司、『中国の誕生 東アジアの近代外交と国家形成』名古屋大学出版会、査読無、2017年、562頁

岡本隆司、『中国の論理 歴史から解き明かす』中央公論新社、査読無、2016年、249頁

村上衛著・王詩倫訳、『海洋史上的近代中国 福建人の活動與英国、清朝の因応』社会科学文献出版社、査読無、2016年、688頁

岡本隆司、『日中関係史 「政冷経熱」の千五百年』PHP研究所、2015年、260頁
加藤聖文・田畑光永・松重充浩編、『挑戦する満洲研究 地域・民族・時間』東方書店、査読無、2015年、248頁

貴志俊彦、『日中間海底ケーブルの戦後史 国交正常化と通信の再生』吉川弘文館、

査読無、2015年、256頁
斯波義信編、『モリソンパンフレットの
世界 近代アジアとモリソンコレクシ
ョン』東洋文庫、査読無、2015年、240頁
岡本隆司、『袁世凱 現代中国の出発』岩
波書店、査読無、2015年、246頁
岡本隆司編、『宗主権の世界史 東西アジ
アの近代と翻訳概念』名古屋大学出版会、
査読無、2014年、408頁
岡本隆司・箱田恵子・青山治世、『出使日
記の時代 清末の中国と外交』名古屋大学
出版会、査読無、2014年、514頁

〔産業財産権〕

出願状況（計0件）
取得状況（計0件）

〔その他〕

なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岡本 隆司 (OKAMOTO, Takashi)
京都府立大学・文学部・教授
研究者番号：70260742

(2) 研究分担者

斯波 義信 (SHIBA, Yoshinobu)
東洋文庫・研究部・研究員
研究者番号：00039950
濱下 武志 (HAMASHITA, Takeshi)
東洋文庫・研究部・研究員
研究者番号：90126368
新村 容子 (NIIMURA, Yoko)
東洋文庫・研究部・研究員
研究者番号：80362945
本野 英一 (MOTONO, Eiichi)
早稲田大学・政治経済学術院・教授
研究者番号：20183973
貴志 俊彦 (KISHI, Toshihiko)
京都大学・地域研究統合情報センター・教
授
研究者番号：10259567
松重 充浩 (MATSUSHIGE, Mitsuhiro)
日本大学・文理学部・教授
研究者番号：00275380
城山 智子 (SHIROYAMA, Tomoko)
東京大学・経済学研究科(研究院)・教授
研究者番号：60281763
吉澤 誠一郎 (YOSHIZAWA, Seiichiro)
東京大学・人文社会系研究科・准教授
研究者番号：80272615
村上 衛 (MURAKAMI, Ei)
京都大学・人文科学研究所・准教授
研究者番号：50346053

(3) 連携研究者

小泉 順子 (KOIZUMI, Junko)
京都大学・東南アジア研究センター・教授

研究者番号：70234672

橘 誠 (TACHIBANA, Makoto)
下関市立大学・経済学部・准教授
研究者番号：30647938